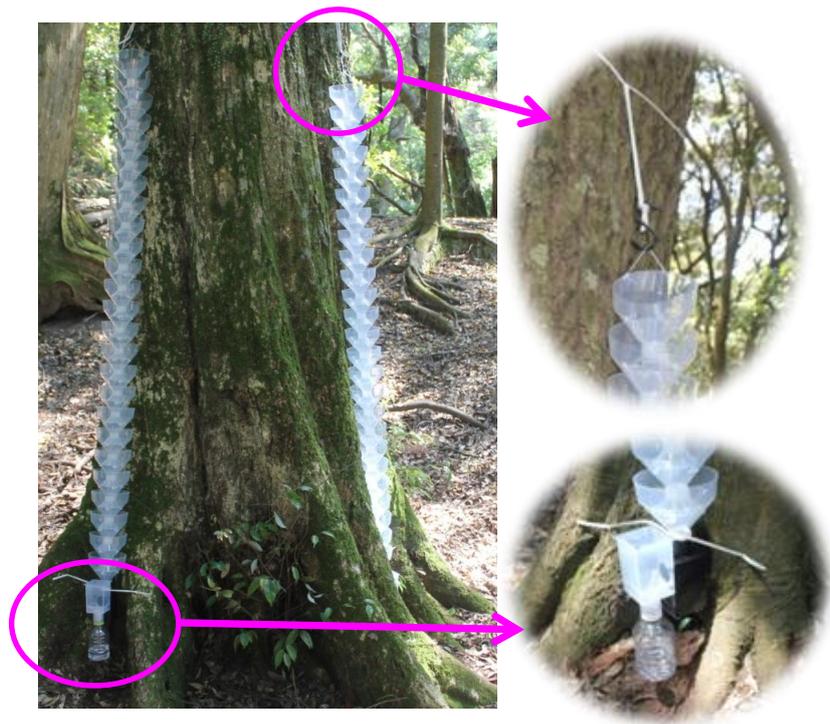


京都府で開発したナラ枯れ防除法の普及

当センターではカシノナガキクイムシの穿入に伴うナラ枯れ被害を抑えるため、さまざまな防除法を開発してきました。特に、ペットボトルの先端を重ねたトラップを幹に吊すことで、幹周辺でホバリングする成虫を大量捕獲する方法は、メディアでも大きく取り上げられました。

このトラップは、カシノナガキクイムシの生態を徹底的に調べ、視力が弱く、歩行が苦手なことを解明した基礎研究によって開発できました。また、これを改良した既製品「カシナガトラップ」は、京都府内だけでなく、近畿府県でも設置され、貴重木の保護に活躍しています。



奈良県春日山に設置したカシナガトラップ